

第23号

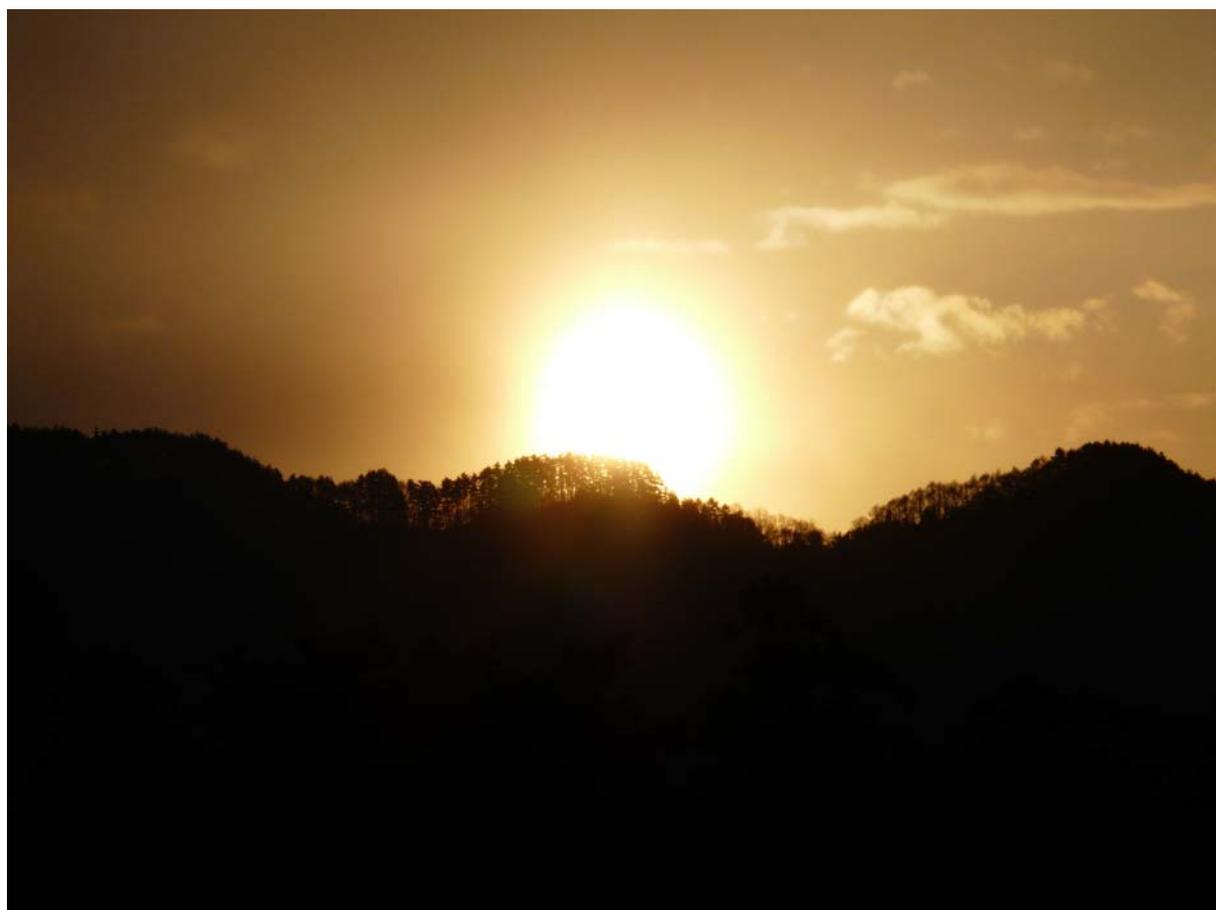
J A長野厚生連 安曇総合病院

# 連携室だより

編集 地域医療連携課

発行日：2009/1/31  
発行責任者 中川 真一

北安曇郡池田町大字池田3207番地1  
直通電話：0261-61-1455  
直通fax：0261-61-1456



平成21年を皆さま健やかに迎えてこのとお慶び申し上げます。旧年中は地域医療連携に大変お世話になりました。本年もますます連携が密にできますようよろしくお願いいたします。

## ●肝疾患に関する専門医療機関指定のお知らせ

厚生労働省のガイドラインに基づく指定を、1月23日長野県知事から受けました。これまで同様に肝疾患診療連携拠点病院（信州大学附属病院）を中心に地域との連携を密にして肝疾患診療にあたります。

## ●放射線科からの読影返書について

CT・MRI等の画像診断ご紹介をいただいておりますが、画像とともに読影所見を患者さん経由でお返ししておりましたが、2月から所見については郵送させていただきます。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

# 平成21年 丑年にあたい

昨年、医療界においては診療報酬改定・後期高齢者医療保険の開始などがあり、その準備や対応で慌しい1年でした。経済においては、原油高・サブプライムローン問題・リーマンブラザーズ経営破たんといったアメリカ発の金融不安が日本をはじめ世界へと波及しています。政府の景気刺激対策である定額給付金は、あるのか無いのかやきもきしながら平成21年を迎えました。

あらためて気持ちをギュウと（牛と）引き締め、今年の安曇総合病院地域医療連携室の取り組み重点を述べさせていただきます。

## I. 地域連携の推進

- ・現在、43人の連携医登録をいただいておりますが主旨をご理解いただき新規登録推進に努めます。
- ・地域連携パスは、現在大腿骨頸部骨折と脳卒中について運用しています。参画医療機関の拡充とより多くの取り扱い症例になるように努めます。また、他の疾病・疾患のパスがご紹介できればと思っています。
- ・医薬分業を進めてきましたので、開業薬局・薬剤師会との連携に取り組みます。

## II. 安曇総合病院地域連携懇話会の定期開催

- ・平成12年から開催しています連携懇話会は、昨年までに25回開催しました。本年も、3月・7月・11月に開催できるよう準備し、平成22年に迎える第30回は、節目の回としてふさわしい会になるようにいたします。

## III. 連携室だよりの定期発行

- ・昨年、3か月毎の発行から隔月発行へと強化してきました。本年も引き続き隔月発行に取り組みます。（連携医リレーインタビューにはご協力をお願いいたします。）

何はともあれ、「スムーズ」を心がけ、より密な連携に努めますのでよろしく願いいたします。（地域医療連携室）



# 連携登録医師インタビュー



近藤一雄先生プロフィール  
昭和14年生  
昭和54年群馬大医卒  
専門は内科

今回は、近藤一雄先生（北安曇郡松川村）を訪問しました。田園が広がる閑静な場所で、落ち着いた雰囲気のある診療所を開業されています。

（聞き手・地域医療連携課山崎）

## 学園紛争

— お仕事の後でお疲れのところ、おじやまします。先生はどちらのご出身ですか。

**近藤** 東京で生まれ、埼玉に疎開しました。群馬大を出ましたので群馬の病院に勤務し、その後長野県でまず白馬診療所に1年半、次に松本協立病院に2年半勤務して今の場所に開業しました。平成元年の暮れでしたので20年目にはいりました。

— 医者になるきっかけは。  
**近藤** 東京教育大学（現筑波大

学）で原子核物理を勉強していたが、学園紛争が目指していきなりましたが、学園紛争があつたりオールドクターの就職が困難な時代でした。親戚が医者をやっていたのでその勧めもあり医者になろうと方向転換しました。

— 医者になって良かったと感じる点はどこですか。

**近藤** 研究者は独りよがりになつたり、世の中の事について視野が狭くなつたりしがちです。本当かどうか戦争があつた事を知らなかつた学者がいたという話もあります。それに直ぐには役に立つかどうか答えがない仕事なんです。しかし、医者には人を相手に仕事をするので、役に立つたかどうかある程度の時間で答えや結果がでる事も多く、その点やりがいがあると感じています。

— どのように診療には取り組まれていますか。

**近藤** 患者さんのうったえを良く聞くようにしています（歳をとつたかな（笑））。患者さんに安心して帰ってもらえるように心がけています。

— 医者をしていなかったら何をされていなかったか。

**近藤** やはり大学などで物理の研究をしていたでしょうね。すこし未練があります。

## 東京でのぞいてくる

— 趣味や余暇の過ごし方を教えていただけますか。

**近藤** 本を読みます。物理の一般書や数学の本、文学や小説なども読みます。重い物を1ヵ月くらいかけ、一緒に軽い物を1〜2日で読みます。最近はいづ井吉見の5部作「安曇野」を読みました。彼の文学館が堀金にありますね。東京に用事があるときは良く本屋をのぞいて購入してきます。あとは写真です。

— デジタルですか。

**近藤** デジタルもいいのですが、アナログを使用し風景を撮ります。フィルムを現像にだし、でき上がりの中からどれを引き伸ばそうかと考えたりする時間が好きです。

— このあたりは四季の移り変わりがあり景色は良いですね。折角のロケーションに鉄塔



診察室をお借りしてのインタビュー

や電柱が邪魔だなあといつも思うのですがいかがですか。  
**近藤** そうですね。鉄塔やコンクリートの電柱は残念ですが、木の電柱はそれなりに趣があつて被写体として大きく写すことがあります。

## 顔見知り

— 最後に、連携についての考えをお聞かせください。

**近藤** 病院があつて助かっています。年3回ある安曇総合病院地域連携懇話会では病院の先生方の紹介がありますからお顔を思い浮かべながら紹介ができます。顔見知りになると連携はスムーズにできると思います。毎回でなくてもいいので懇親会を開催していただくと良いと思います。

— 本日は、ありがとうございます。

## 〔近藤医院のご紹介〕

所在地：北安曇郡松川村5728-68  
標 榜：内科・小児科  
診療日：月～金曜日  
（午後は休診）

近藤先生には、安曇総合病院地域連携懇話会運営委員をお務めいただいています。

## 第26回地域連携懇話会のお知らせ

1月30日に開催した懇話会運営委員会におきまして、第26回安曇総合病院地域連携懇話会を下記により開催いたします。年度末のお忙しい時期ではありますが大勢の皆さまのご出席をお待ちしています。

- ★開催期日 平成21年3月16日（月）18：30から
- ★場 所 安曇総合病院外来棟2階会議室
- ★内 容 1) 講演「気管支喘息の病態と治療の概要」  
講師 安曇総合病院呼吸器内科 岡田光代医師  
2) 合同カンファレンス  
3) ディスカッション

## 第3回緩和ケア公開講座のお知らせ

当院では、緩和ケアについて患者・家族・職員・関係者・地域が共通の知識を深めるのを目的に、下記により緩和ケア公開講座を開催します。講師は、長野県で先進的な取り組みをされています山田祐司先生（愛和病院長）をお迎えしました。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

- ★開催期日 平成21年3月6日（金）18：30から
- ★場 所 安曇総合病院外来棟1Fホール
- ★内 容 講演「わかるできる緩和ケア」  
講師 山田祐司先生（長野市愛和病院長）



表紙の写真/

当院屋上から見た初日の出。やや曇りではありましたが、遠くには南アルプスを望むことができました。

(2009.1.1AM7:25)

### ●放射線カンファレンス（二水会）開催のお知らせ

3月11日（水）19：00から安曇総合病院外来棟3階健康管理室で行います。気になる症例などありましたらお持ちよりください。

患者さんのご紹介等診療情報に関するお問い合わせ・ご要望は地域医療連携課で承っています。

電 話 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

E-mail: [az-gyomu@janis.or.jp](mailto:az-gyomu@janis.or.jp)

受付時間 平 日 8時30分～17時  
土曜日 8時30分～12時30分（第2・4・5は休み）